無縁坂

本調子

尺中上♯四上中〇尺中上四老四上〇中上四老乙老四〇上

四老乙♯合乙　〇　四老乙四老　〇　老乙合老乙　〇

はは▽　がまだ　わかいころ

ぼく　のて　をひ　いて　このさか　を

四老乙四老乙合乙乙　〇　〇　上乙上　上　〇

のぼ　るた　び　いつ　もためいき　を　つい　た

四乙四　四　上四老四上中四老乙♯合乙　〇　〇

ためいきつけば　それ　です　む　うしろだけはみちゃだめ

四老乙四老　〇　老乙合老乙　〇　四老乙四老乙合乙

と　わら　って　た　しろ　いて　は　とて

乙　〇　〇　上乙上　上　〇　四乙四　四　上四

もや　わら　かだ　った　うん　がい　い　とか

老四上中四老乙♯合乙　〇　〇　尺中上♯四上中尺

わる　いとか　ひと　はとき　どき　くち　にす　るけ　ど

中上四上中　〇　上四老乙老四上　四老四上中尺中

そう　いう　こと　って　たし　かに　ある　と　あな　たを　みて　て

尺中上♯四上中尺　中上四老四上中　上四老乙老四上

そう　おもう　しの　ぶし　しの　ばず　むえ　んざ　か

四老乙合乙　〇　乙老四上中尺中　中上上四老　〇

かみ　しめ　る　よう　な　ささ　や　かな

老四上中尺工〇尺中　〇　尺工五　〇工尺　〇

ぼ　く　の　はは　の　じん　せい

工〇尺　中〇工尺中　工　尺　中　上　〇　〇　〇

△

無縁坂

本調子

2/2

四	老	乙	四	老	○	老	乙	#合	乙	#合	乙	○	○	○

一、母がまだ若い頃　僕の手をひいて
この坂を登る度（たび）　いつもため息をついた
ため息をつけば　それで済む
後（うしろ）だけは見ちゃだめと
笑ってた白い手は　とてもやわらかだった
運がいいとか　悪いとか
人は時々口にするけど
そういうことって確かにあるとあなたを見ててそう思う
忍ぶ　不忍（しのばず）　無縁坂
かみしめる様な
ささやかな　僕の母の人生

二、いつかしら（注）僕よりも　母は小さくなった
知らぬまに白い手は　とても小さくなった
母はすべてを　暦に刻んで
流して来たんだろう
悲しさや苦しさは　きっとあったはずなのに
運がいいとか　悪いとか
人は時々口にするけど
めぐる暦は季節の中で
漂いながら過ぎてゆく
忍ぶ　不忍（しのばず）　無縁坂
かみしめる様な
ささやかな　僕の母の人生